

# 子ども未来応援センターオープン

問合せ／子ども未来応援センター ☎049-252-3773



## 子ども未来応援センターの業務

### 子ども未来相談窓口の設置



すべての子どもを対象に、さまざまな相談に応じ、必要な支援につなげます。

本人だけでなく、どなたからの相談も受け付けます。

### 出産おめでとうレターの送付



出産後、市内に住所がある各家庭に、市長のメッセージ入りの「出産おめでとうレター」を送付します。

### 妊娠届の受け付け 母子健康手帳の交付



センターオープン後は、妊娠届の受け付けをセンターに一本化します。

妊娠届の受け付けと母子健康手帳の交付時は、保健師が面接を行います。

### モバイルサイトによる 子育て応援情報発信



市の子育て支援情報の掲載や予防接種スケジュール、月齢・年齢に合わせた情報の発信などを行います。

### 不妊検査および不妊治療の助成

不妊検査・治療に関する市の助成事業の窓口です。対象や申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

### 夢つなぐ富士見プロジェクト+(プラス)の推進

夢つなぐ富士見プロジェクト+(プラス)(富士見市子どもの貧困対策整備計画)を具現化するための会議を開催。地域団体、企業、教育機関、関係機関などとの連携を図るためのネットワーク構築を目指し、子ども未来コーディネーターとともに情報収集、情報共有を進めます。

## アクセス

### 子ども未来応援センター

富士見市大字鶴馬3351-2

(健康増進センター内。駐車場あり)

☎049-252-3773 FAX049-252-3772

徒歩の場合：みずほ台駅東口から徒歩約21分

バスをご利用の場合：市内循環バス

- ・「みずほ台駅・水谷東線」、「みずほ台駅線」健康増進センター下車
- ・「前谷住宅線」増進センター入口下車徒歩5分



### 子どもに関する総合相談

子育てをしている中で、「どこに相談したらいいかわからない」「子どものことで心配ごとがある」「などの不安を感じたことはありませんか。そんな時は、センターにご相談ください。どのような相談でも結構です。子ども未来相談窓口で専門のスタッフがお話を伺い、必要な支援へとつないでいきます。

市では、市民の皆さんの子育てを応援するため、妊娠期から子育て期に至るまでの包括的な支援体制を実現し、すべての子どもが「夢に向かってチャレンジ」できるよう、子ども未来応援センター(以下、センター)を10月2日(月)にオープンします。センターは、子どもに関する総合相談、妊娠届の受け付け・母子健康手帳の交付、子どもの貧困対策整備計画の推進の3つの機能を持っています。

### 子どもの貧困対策

国が実施した国民生活基礎調査によると、日本の子どもは、7人に1人が貧困の状態であることが報告されています。市では、いち早くこの問題に取り組み、昨年度策定した子どもの貧困対策整備計画「夢つなぐ富士見プロジェクト+プラス」を推進し、市全体で取り組むためのネットワークを構築していきます。子どもの貧困対策は、地域の皆さんの協力が必要です。すべての子どもが夢に向かってチャレンジできるよう、一丸となって子どもたちの未来を応援しましょう。

### 妊娠したら

センターでは、母親になる方への「きめ細かな支援」を行うため、妊娠届の受け付けと母子健康手帳の交付はすべて保健師が面接して行います。妊娠期における不安に関する相談を保健師が直接お受けし、安心して出産に臨んでいただき、必要に応じて適切な支援機関へとつないでいきます。



パパママ準備教室では、出産を迎える参加者が先輩パパママからさまざまな経験を聞くこともできる

すね」と語ってくれたのは、11月に1歳を迎えるお子さんのいる石黒実香さん。「母と育て方について意見が合わなかったことがありましたが、うまく赤ちゃんをあやせない夫にも、仕方ないと思いつつ、だかと言つて、友人たちも忙しく、まだ出産経験のある人も少なく、

子ども未来応援センターは、地域の絆を育み、連携して子どもたちの健やかな成長を見守る体制を構築していきます。

「パパママ準備教室などの事業に参加して本当に良かったです。ほかのパパの状況を聞くことができるので大変参考になります。また、私からこれからはパパになる人に伝えたアドバイスを活かしてくれれば何よりです、伝えることで、自身の振り返りにもなります。ここで知り合ったパパとまちで出会ったりして、交流の機会が増えました」と語ったのは矢部光弘さん。ひとりの経験をみんなで共有すれば、より豊かな子育てができるようになるだけでなく、より一層地域の絆を深めることにつながります。

悩みを共有しづらい時もあり、気持ちの晴れない時期がありました。親しい方が周囲にいても、第三者の立場で常に相談を受けられる窓口の存在が重要であることがわかります。

### 地域一丸、みんなで子育て



酒井 暁史さん  
奈々恵さん  
凜太郎ちゃん

矢部 光弘さん  
知果さん  
結太ちゃん

石黒 康平さん  
実香さん  
秀樹ちゃん

# 私たちの子育て

健康増進センターが開催する「はじめてのパパの子育てサロン」に参加し、同日開催の「パパママ準備教室」にも先輩パパママとしてご協力いただいた3組のご家族に、市の子育て支援や子ども未来応援センターのオープンについてお話を伺いました。

## ママたちにうれしい 総合相談窓口

「子育てに関する疑問などを総合的に受けてくれる窓口があると、ママたちはうれしいと思います」と語ってくれたのは、生後4か月のお子さんのいる酒井奈々恵さん。「窓口がいろいろなところに分かれているのは、ママにはとても大変です。富士見市は市外から転居してきたご家族も多いでしょうから、ほかの施設を案内されてもわからない場合もあると思います。酒井さん本人も出産後に不安を抱え、落ち込んでしまったことがありました。「親族に相談しましたが、うまく伝えられなくて、どこにどのよう話をしたらよいか迷いました。あのころにセンターがオープンしていたら、相談していたと思います」と語られました。

## 不安を解消するための 選択肢

矢部知果さんも今年2月に出産を終え、ママになったばかり。出産直後はやはり不安があったと言います。「産後、母乳が十分に出ていないかわからず、赤ちゃんの体重が順調に増えるか不安でした。そんな時に、市の母乳相談があることを知り相談を試みた結果、安心して授乳することができるようになりました。私は出産したのは市外にある実家の方で、そのまちはそのような支援がなく、一緒にいた母が感心していました。センターもオープンするということが、富士見市は子育てに対する支援が充実している感じがしますね」とご自身が不安の解消に至った経験を語ってくれました。

「相談する窓口がひとつ増えるのは、選択肢が増えてとても心強い

子ども未来コーディネーター  
社会福祉士  
本橋 朝子



### 段階に応じた切れ目のない支援を

人が子を産み、育てていく中で、悩みや不安がまったく無いということはありません。親族や友人とのつながりが薄れてきていると言われる昨今、不安を感じたことや疑問に思ったことを相談する相手が本人の身近にない状況も多々あると思います。また、その不安が複雑で、何をどこに相談すればよいかわかりにくいケースもあります。

子ども未来応援センターでは、お子さんの成長段階に応じた切れ目のない寄り添い型の支援を展開していきます。

小さなことでも、不安なことがあったら一度子ども未来応援センターへご連絡ください。

子ども未来応援センター  
所長  
小野寺 みゆき



### 地域の方々と連携してできることを模索したい

核家族化や共働きの増加により、忙しい家庭が増え、家庭からのアクセスを待っているだけでは間に合わない、必要な窓口にとどり着かないことも多く、行政サイドからの積極的な発信と気づきが求められていると思います。

また、子育て支援は、地域資源を活用して包括的に取り組む必要があります。

今後、子ども未来応援ネットワーク会議(仮称)を設置し、さまざまな地域の方々と一緒に、家庭を取り巻く環境の在り方などについて検討を重ね、連携しながら、地域でできること、子ども未来応援センターでできることを模索していきたいと考えています。